多様なニーズに応じた研修プログラムを提案

１００以上ある講義の中から、ニーズに合わせた講義を提案しています。
下記はその一部の紹介です。 講義及び研修プログラムは、随時、更新していきます。

通級指導の担当者になったら
＜通級による指導に関する基礎的知識＞

①「通級による指導」の成立とその意義
②多様な学びの場
　(2)小学校・中学校等
③「個別の指導計画」の作成と活用
④特別支援教育におけるカウンセリング技法
⑤特別支援教育コーディネーター
　－役割と活動を中心に－
⑥障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援

通級指導の担当者になったら
＜障害種別の指導＞

①発達障害のある子どもの通級による指導
②自閉症のある児童生徒の自立活動の指導
③言語障害のある児童生徒の理解と指導１
　－構音障害・吃音障害－
④言語障害のある児童生徒の理解と指導２
　－言語機能の基礎的事項の発達と遅れや偏りに関する障害－
⑤聴覚機能の理解と指導
⑥視覚障害教育における自立活動の指導と情報機器の活用
⑦弱視学級における指導と学習支援

特別支援教育コーディネーターになったら

①共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築
②インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進
　(2)理念と基本的な考え方
③多様な学びの場
　(2)小学校・中学校等
④特別支援教育コーディネーター
　－役割と活動を中心に－
⑤「個別の指導計画」の作成と活用
⑥インクルーシブ教育システムの構築

特別支援学級（知的障害）の担任になったら

①共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築
②多様な学びの場
　(2)小学校・中学校等
③知的障害の理解と教育的対応の基本
④知的障害教育における教育課程の編成
⑤各教科等における指導の工夫
⑥知的障害教育における自立活動の指導
⑦知的障害教育における領域・教科を合わせた指導

小・中学校の管理職になったら

①多様な学びの場
　(2)小学校・中学校等
②インクルーシブ教育システムにおける専門性と研修
③特別支援教育コーディネーター
　－役割と活動を中心に－
④「個別の指導計画」の作成と活用
⑤合理的配慮と基礎的環境整備
⑥小・中学校に在籍する健康面に配慮が必要な児童・生徒の理解（準備中）
⑦小学校・中学校管理職のための特別支援学級における教育課程編成（準備中）

すべての教職員を対象に：本人・保護者に寄り添った指導・支援のために

①障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援
②合理的配慮と基礎的環境整備
③特別支援教育におけるカウンセリング 技法
④検査の意義とアセスメント－アセスメントの目的と意義－
⑤教育と福祉・医療との連携

＜講義配信を研修会等でご利用いただく際のお願い＞
・資料の著作権は、本研究所にあります。スライド資料を配布する場合は、出典先を明記していただくよう、お願いいたします。
・営利目的の研修会等では、本講義配信の使用をご遠慮願います。

NISE 講義配信

特別支援教育 研修講座コンテンツ

～インクルーシブ教育システムの構築と推進を担う教職員と全ての関係者のために～

教育委員会主催の研修会や校内研修会等にも活用いただけます

個人登録を行うことで、100以上ある全講義を無料で視聴できます

ご自身のニーズとペースに合わせてご活用ください

スマートフォンやタブレット端末での視聴も可能です

本研究所では、障害のある児童生徒等の教育に携わる教職員の資質能力向上を図る主体的な取組を支援するため、インターネットによる講義配信を行っています。また、特別支援教育についてご理解いただくために、保護者や福祉・医療従事者の皆さまにも視聴していただけます。

講義タイトルの一覧 及び 個人登録申込先はこちらから
URL：http://www.nise.go.jp/cms/9,0,20.html

独立行政法人　国立特別支援教育総合研究所

NISE講義配信を活用して

教職員のスキルアップ＆校内・地域の課題解決を！

※活用例の作成に当たっては、次の教育委員会、学校、発達支援センターに御協力いただきました。
宮城県大崎市立川渡小学校・千葉県立松戸特別支援学校・東京都練馬区教育委員会・
東京都清瀬市教育委員会・新潟県十日町市立ふれあいの丘支援学校・新潟県十日町市立十日町小学校・
新潟県十日町市発達支援センターおひさま・宮崎県立みやざき中央支援学校

～教職員のキャリアステージや課題に応じて活用できます～

活用例：初任者研修会で基礎的・基本的事項の理解を図る

小・中学校に新規採用された教員を対象にした教育委員会主催の初任者研修会において、特別支援教育に関する基礎的・基本的な事柄についての理解を促すために講義を視聴しました。受講者が、研修会後にも、自己の課題や関心に応じた講義を視聴し理解を深めることができるよう、活用の仕方を紹介しました。

【対象】小・中学校新規採用教員（教育委員会主催の研修会）
【使用講義】
➢ インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進
（２）理念と基本的な考え方
➢ 多様な学びの場
（２）小学校・中学校等
➢ ＬＤのある子どもの理解と対応

活用例：小学校の校内研修会で日々の指導・支援の改善を目指す

特別な教育的ニーズのある児童に対するより適切な支援や配慮について、校内委員会で定期的に検討しています。各教員の児童理解・実態把握のスキルをより高め、日々の指導の改善と充実を目指すために講義配信を視聴しました。講義の中で紹介されている手法を使い、手立てや配慮を考える演習を行いました。

【対象】小学校教員（校内研修会）
【使用講義】
➢ 発達障害のある子どもの通常の学級における支援

活用例：特別支援教育コーディネーター対象の研修会で共通理解を図る

幼稚園、小・中学校の特別支援教育コーディネーターを対象にした教育委員会主催の研修会で活用しました。特別支援教育コーディネーターとしての経験年数は受講者によって違いましたが、研修会の中で同じ講義を一緒に視聴することで、あらためて特別支援教育コーディネーターの基本的な役割や活動について共通理解を図ることができました。

【対象】幼稚園及び小・中学校の特別支援教育コーディネーター（教育委員会主催の研修会）
【使用講義】
➢ 特別支援教育コーディネーター～役割と活動を中心に～

活用例：特別支援学校から地域の小・中学校へ情報発信する

小・中学校に在籍している障害のある児童生徒のために、特別支援学校はセンター的機能の発揮が求められています。特別支援学校の学校公開の機会に、地域の小・中学校のコーディネーター等を対象に教育相談や合同研修会を行い、地域における関係づくりを図りました。会場には、参加者のニーズに合った講義を自由に視聴できるNISE講義配信コーナーを設けました。

【対象】地域の小・中学校教員等（特別支援学校の学校公開）
【使用講義】
➢ 「個別の指導計画」の作成と活用　等、教員のニーズに合わせて

活用例：特別支援学校で専門性向上の主体的取組を支援する

特別支援学校の5年経験者研修で活用しています。障害種の異なる特別支援学校から異動してきた教員にとっては、必要な専門性を校内でいかに研修するかが課題となっています。日々の指導を振り返る中で見えてきた自己の課題を解決する方法の一つとして、講義配信の視聴とその内容に関するディスカッションによって、専門性の向上を図っています。

【対象】特別支援学校で5年経験した教員（経験者研修の一環）
【使用講義】
➢ 肢体不自由の特性と教育課程　等、教員のニーズに合わせて

活用例：合同研修会で地域の学校や関係機関の連携充実を図る

併設している小学校・特別支援学校・発達支援センター間の連携充実を図るために、合同研修会を定期的に行っています。地理的に、講師の先生を頻繁に招くことが難しく、講義配信を活用しました。同じ講義を一緒に視聴し、参加者全員でインクルーシブ教育の目指す方向性を共通理解した上で、連携の在り方についてグループディスカッションを行いました。

【対象】小学校及び特別支援学校教員、発達支援センター職員（合同研修会）
【使用講義】
➢ 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築

初任段階

教職の基礎を固める時期

中堅段階

「チーム学校」の一員として専門性を高め、連携・協働を深める時期

ベテラン段階

より広い視野で役割を果たす時期